

東日本外壁仕上業協同組合(☎03-3374-3981)
近畿外壁仕上業協同組合(☎06-6533-0768)
福岡外壁仕上業協同組合(☎092-512-9141)

愛媛県仕上工事業協同組合(☎089-926-2067)
中国外壁仕上業協同組合(☎082-294-4878)

平成25年度登録外壁仕上基幹技能者講習、間もなく実施 今後の現場職長に求められる必須資格

日本外壁仕上業協同組合連合会(野口陽一会長)は、このほど平成25年度登録外壁仕上基幹技能者講習会の概要を公表するとともに、受講者の受付を開始した。

当連合会傘下の地区組織である東日本外壁仕上業協同組合、近畿外壁仕上業協同組合では11月の初旬と下旬で下記の通り実施する予定。

■東京地区／開催日時＝平成25年11月3日(日)～4日(月)の2日間、時間＝8時30分～18時(受付は8時から開始)、場所＝森商事(株)東京支店(東京都大田区京浜島2-6-7、TEL03-3799-6011)、受験手数料振込先＝東京スター銀行・新宿西口支店普通預金口座0063369、名義：東日本外壁仕上業協同組合、受付窓口＝東日本外壁仕上業協同組合(〒151-0053東京都渋谷区代々木2-5-1羽田

ビル502、TEL03-3374-3981)、申込み締切日(事務局必着10月15日)

■大阪地区／開催日時＝平成25年11月30日(土)～12月1日(日)の2日間、時間＝8時30分～18時(受付は8時から開始)、場所＝日本ペイント(株)(本社内)大淀研修センター(大阪市北区大淀北2-1-2、TEL06-6458-1111)、受験手数料振込先＝三菱東京UFJ銀行・信濃橋支店普通預金口座0045355、名義：近畿外壁仕上業協同組合 理事長 岩田紳一、受付窓口＝近畿外壁仕上業協同組合(〒550-0011大阪市西区阿波座1-7-12、TEL06-65330768)、申込み締切日(事務局必着10月末日)

■四国地区および九州地区は未定

基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識をもつとともに、現場



学科講習の風景

をまとめ、効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者で、専門工事業団体の資格認定を受けた者をいう。同講習は当連合会が国土交通省の登録(登録番号22)を受け、実施する公的講習であり、平成21年より実施している。

当連合会では現在154名の登録資格者を生んでいる。

受講料は40,000円。講習科目と

■ 登録基幹技能者制度 ■

同制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設21業種28団体で整備された制度。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられる。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と職長経験が必須となる。そのうえで、外壁仕上一級技能者合格者または国土交通大臣優秀施行顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となるため、今後、多くの受験者がチャレンジしてくるものと思われる。

小野澤専務理事によれば、「この資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であり、登録基幹技能者を目指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となるのではないかと話している。また、国土交通省も奨励している資格制度なので、建設現場での一定数の配置を義務づけるなど今後益々、重用されて行くのではないかと話している。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加点することを決定している。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加点され

ることとなる。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていきけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあると言える。日本外壁仕上協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業施工規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として認定登録されており、今回開催される講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会だ。基幹技能者の資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要がある。

内容および試験科目と内容は以下の通り。

A. 講義科目と内容／(1)基幹技能者一般知識＝①基幹技能者のあり方に関する事項(講義時間＝60分)、②実務に役立つ話し方・OJT教育に関する事項(同120分)、(2)専門技術に関する知識＝①調査診断(同30分)、②下地処理(同30分)、③仕上材料について(同60分)、④仕上工法について(同60分)、(3)基幹技能関係法令＝関連法規に関する事項(同60分)、(4)現場管理に関する知識＝①施工に関する事項(同60分)、

②事務管理に関する事項(同30分)、③工程管理に関する事項(同60分)、④資材管理に関する事項(同60分)、⑤原価管理に関する事項(同60分)、⑥品質管理に関する事項(同60分)、⑦安全管理に関する事項(同60分)——以上計13時間30分

B. 試験の科目と内容／(1)試験は、講義の課目に応じ、合計2時間行う。(2)試験問題は四者択一式問題25問と工程表作成問題4問で、講義の内容全てから出題する。

■詳細については、本部事務局または地区事務局までお問い合わせ下さい。

2020東京オリンピック・パラリンピックの開催決定と建築の話題

9月7日(日本時間8日)、アルゼンチンのブエノスアイレスで開催されたIOC総会で、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定した。同大会の最大の特長は「世界一コンパクトな大会」の実現。選手村(有明地区)に17,000人が宿泊可能から半径8km圏内に、東京圏の33競技会場のうち28会場(85%)が収まるほか、世界各国からの取材陣の拠点となる。

建築界の話題は、同大会のメインスタジアムの建設だ。今回採用されたのはイラン出身で英国在住の女性建築家・ザハ・ハディド氏のデザインによる「新国立競技場」。新国立競技場の規模は、総延べ約29万㎡で、開閉式膜屋根を設ける。収容人数8万人。総工費は約1300億円を予定するビッグプロジェクト。2015年10月に着工し、19年3月の完成をめざす。同女史は新国立競技場の基本構想国際デザイン・コンクールで、斬新な流線型のアーチ状主架橋や、自然採光・自然換気・太陽光発電・地中熱利用・中水や雨水を使ったクリーニングシステムなどを提案した。同スタジアムの管理運営を行っている日本スポーツ振興センターは、招致決定に先立つ8月22日、WTO(世界貿易機関)対象の「新国立

競技場等整備に係る発注者支援業務(平成25年度)」の公募型プロポーザルを実施し、山下設計・山下ピー・エム・コンサルタンツ・建設技術研究所JVを特定した。同JVには、構造アドバイザーとして川口衛法政大名誉教授、環境アドバイザーとして尾島俊雄早大名誉教授が参画。山下設計グループは、発注者支援として、新国立競技場を始め、関連施設、関連敷地を含む環境整備にかかわる設計業務の技術的確認などを担う。また、基本設計に向けた設計条件などを整理するフレームワーク設計業務は、日建設計・梓設計・日本設計・オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッドJVが担当する。

因みに、東京オリンピック・パラリンピック招致活動で使用されたロゴは、「桜」がモチーフ。鮮やかな色は、オリンピックカラーの赤、青、黄、緑の4色に東京を表す色として「江戸むらさき」を使った五輪の五色で、花びらの1枚ずつが世界をつなぐ一つの大きな輪となるように、桜のリースをイメージしているという。このロゴを制作したのは2011年にJOCの公募で選ばれた女子美術大学4年(当時)の高峰藍(しまみねあい)さん。

■ 40年の歴史をもつ全国組織です ■

日本外壁仕上業協同組合連合会(本部/東京都・会長/伊集院均;略称NGS)は、昭和42年に日本建築仕上材工業会の前身である日本防水シロイン工業会の施工部門が独立して設立された建築吹付工事の専門家組織です。今日、外壁仕上協同組合連合会所属の会員会社は、吹付・塗装を業務の核としながらも、屋根・防水・内装工事など幅広い事業展開をしており、時代が求める総合リフォームのプロ集団へと変貌を遂げつつあります。国土交通省の行政指導のもと以下の全国5地区に事務所を置く協同組合の連合体です。活動状況など詳しくは本部事務局または各組合事務局にお訊ね下さい。
 □東日本外壁仕上業協同組合(理事長:田田 雅夫)
 □近畿外壁仕上業協同組合(理事長:岩田 紳一)
 □愛媛県仕上工業協同組合(理事長:平田 弘)
 □福岡外壁仕上業協同組合(理事長:川口 大介)
 □中国外壁仕上業協同組合(理事長:稲本 和生)

■ 登録外壁仕上基幹技能者の育成 ■

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設27業種35団体が整備された制度です。基幹技能者は、専門工業職種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけではなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材です。それゆえに、現場の実態に応じた的確な施工方法を技術者に提案することができ、関連業種との調整能力も発揮する人材です。

また、効率的な工事推進のための優れた現場管理能力・原価管理能力を有し、建設産業の労働生産性を高めることに資することのできる人材です。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となります。そのうえで、外壁仕上一般技能者合格者または国土交通大臣優秀施工顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となります。

当該資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であり、登録基幹技能者を指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となります。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加算について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加算することを決定しています。国土交通大臣に修了した機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加算されることとなります。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしているような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあります。

日本外壁仕上業協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業法施行規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として登録されました。講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会であり、当該資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要があります。吹付・塗装分野に携わっておられる方は、積極的に登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお薦め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる、上級職長等として、以下の役割を通じて効率的で生産性の高い工事を実施する者を指します。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等、2. 現場作業を効率的に行うための技能者の適切な役割分担等作業手順の決定、3. 他の技能者の施工に係る指示、指導、4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整。登録基幹技能者に必要な能力は、1. 吹付塗装の技術に熟達していること、2. 吹付塗装の技術に関連する知識、技術の進展等に対応していく力、3. 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力、4. 塗装・吹付に携わる方。

■ 受験資格・手続き・経営審査 ■

平成14年～20年に外壁仕上基幹技能者に合格された旧基幹技能者の方は、制度が登録外壁仕上基幹技能者になるにあたり、特例講習を受講する必要があります。特例講習の実施は、2015年10月から24年3月まで完了となりました。